

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2017年3月

ISO/TC 61 (プラスチック) 第65回年次国際会議開催

1. はじめに

第65回 ISO/TC61 国際会議が、2016年9月19日～23日の5日間にわたり、ドイツ・ベルリンの DIN 本部にて開催された。

会議には20カ国、約260名が参加し、昨年の18カ国、約200名に比べてかなり多い参加者であった。日本からは宮入裕夫（東京医科歯科大学名誉教授）団長をはじめ、68名(昨年：56名)が参加した。日本の参加者数はトップで、これに対応して日本からは多くの規格を提案して、開発を進めることができた。

2. TC61 の構成・活動状況

ISO/TC61 は、表1に示すように傘下に10のSCがある。TC61 及び各SCの傘下にWGがあり、現在全部で55のWGが活動している。

ISO/TC61 幹事国は中国、議長国はドイツであり、参加P-メンバーは31カ国、O-メンバーは39カ国である。保有規格数は678あり、大きなTCを形成している。この中で、日本は3つのSCの幹事国を引き受けており、TC61における日本の存在感は大きい。

1週間の会議期間において、TC61 及び全てのSCの会議、及び全WG(55)のほとんどのWG(48)の会議が開催された。WGでは、新規提案や投票結果の審議が行われ、WGの上位にあるSCまたはTCにおいてWGでの審議結果が承認されることにより、規格開発の段階を着実に進めることができた。

表1 TC61の構成 (TC61: 幹事国 CN, 議長 DE)

SC	幹事国	議長	タイトル	活動中WG数
SC 1	GB	US	用語	1
SC 2	CN	KP	機械的性質	7
SC 4	GB	GB	燃焼挙動	4
SC 5	DE	DE	物理・化学的性質	7
SC 6	DE	DE	耐老化, 薬品, 環境性	3
SC 9	KP	KP	熱可塑性プラスチック	11
SC10	CA	CA	発泡プラスチック	3
SC11	JP	JP	製品	5
SC12	JP	JP	熱硬化性材料	3
SC13	JP	JP	複合材料及び強化繊維	2

US:アメリカ, CN:中国, GB:英国, DE:ドイツ, JP:日本, CA:カナダ, KP:韓国

3. 会議概要

従来、TC61 全体会議は最終の金曜日に開催され、各 SC の審議概要を各議長が報告を行っていた。昨年より、初日の朝にも TC61 全体会議を開催することとなった。そこでは、会議のホスト国からの挨拶や一週間の予定の説明が行われた。

通常の会議の他に"リーダーズ会議" (TC61、各 SC の議長、幹事及び各国代表が参加)、及びバイオプラスチックシンポジウムが開催された。

4. トピックス

1) TC61 Outstanding Service Award

毎年、年次会議の時に、TC61 に非常に貢献したメンバー1 名に"TC61 Outstanding Service Award" を授けることとなっている。2016 年度は SC11 議長の末松氏に贈られた (写真 1)。



写真 1 SimonTC61 議長と末松 SC11 議長

2) TC61 のスコープの変更

ISO/TC44 (溶接) に対して、TC61 ではプラスチックの熔融接合等を明確に TC61 のスコープに明記することになり、熔融接合、シーリング、高分子接着剤等による接合を TC61 のスコープに加えることが、TC61 の決議事項として承認された。

3) 新規 SC"プラスチックと環境"の設立

現在 SC5 の傘下にある WG22 (生分解性プラスチック)、WG23 (バイオベースプラスチック) 及び AHG1 (マイクロプラスチック) を SC5 から分離し、さらに"リサイクル"等を加えた新規の SC "プラスチックと環境"を設立することが、TC61 の決議事項として承認された。

4) 今後の TC61 年次会議の開催予定

2017 年は韓国 (ソウル又はチェジュ)、2018 年は日本ということで、ある程度目途は立っている。2018 年の TC61 年次会議の日本開催については、既に開催場所 (大宮ソニックシティー) と期日 (2018 年 9 月 24 日~28 日) は決定している。

以上